真野小だより

児童数：４６１名
Ｎｏ．１６
令和４年１２月２１日発行

学校教育目標『あかるく　やさしく　たくましく』

よいお年をお迎えください

令和４年も残すところ１０日となりました。間もなく子どもたちが楽しみにしている冬休みがやって来ます。１７日間という短い休みですが、事故や怪我のない、安全で楽しい毎日を過ごして欲しいと思います。各担任から事前の指導を行いますが、規則正しい生活や家族の一員としての役割の遂行、古くから続くよい習慣や態度を育む機会としていただければ幸いです。特に年末年始は改まった挨拶等を体験し、礼儀作法を身に付ける絶好の機会です。

また、最近の感染状況から、場面に応じたマスクの着用、密の回避、手指消毒など基本的な感染対策についてもよろしくお願いします。

保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対して、いつも温かなご支援・ご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

迎える新年も引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

学級懇談会、よろしくおねがいします

１２月２２日（木）に学級懇談会を行います。お忙しいと思いますが、時間を取ってくださいますようよろしくお願いします。なお、懇談会にお越しいただく際には、**必ず体調管理票**をご持参いただき、担任に提出いただきますようお願いいたします。

卒業証書授与式の日程について

卒業証書授与式の日程が決定しましたので、お知らせします。

令和５年３月１７日（金）　９：００～

６年生の保護者様は、予定に入れてくださいますようお願いいたします。

なお、式の詳細、式への参加者の範囲、ご来賓の参列等詳細については、教育委員会からの通知があり次第、追ってお知らせいたします。

すべての人が幸せになるために…

突然ですが、左の「ヘルプマーク」をご存じでしょうか。ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々がバッグなどにつけて表示しています。そうすることで、配慮を必要としていることを周囲の人に知らせ、援助を得やすくなるように考えられて作成されたものです。マタニティーマークが妊婦であることを知らせているのと同様です。例えば、電車の中で席を譲ってもらえる姿などをイメージするヘルプマークですが、着用していることで、緊急時に適切な対処を受けられるようになることが想定されています。

先日、『見えぬ内部障害に理解を』という見出しで、腎臓に重度の障害を抱える新聞のコラムがありました。「優先席に座っていると、聞こえよがしに舌打ちされたり睨まれたりした」「きつくて吊り革にかろうじてつかまっていても、譲ってもらえない。目が合うなり眠ったふりをされた」などの体験が綴られています。別の方からは、「優先席に座っていると、若いくせに座るなと言われて傘で足を刺された」(心臓障害)、「歩くのでさえ精いっぱいだったのに、駅で車椅子ごと抱えるのを手伝うように頼まれた」(内臓疾患)、「車椅子でない私は、健常者の出来が悪い人程度に思われている」(自己免疫難病)といった声も聞かれます。

これを読むと、「わかっていてもできない現実」「理解と行動との乖離」を感じます。学習内容を理解していても、必ずしも活用できるとは限らないということに似ているかも知れません。身近では、４人掛けの電車の座席が２人で占められて、人が立っているという場面に遭遇します。「もう少し左右にズレれば」「股を軽く閉じればもう一人が座れるのに」と思うこともあります。逆に狭いスペースに座って横にずれない人を何度も睨む場面もあります。中には気づいていない人、気づけない人、気づいても無視する人などがいるのかも知れません。大人も子どもも相手を意識することで、もっと気持ちよく日常生活が送れそうな気がします。そんなことを言う自分も、気づかずに相手に嫌な思いをさせていることがきっとあるはずです。

ヘルプマークやマタニティーマーク、お年寄り等への対応だけでなく、普段の生活の中で①気づくこと、②無関心の第三者にならないこと、③理解すること、④行動することの４つはとても大事だと思います。昔、ＡＣジャパンのＣＭに『すべての人が幸せになる。これを邪魔している最大の敵は、隣人への無関心ではないでしょうか』というのがありました。

友だちの様子、家族の気持ち、そうした何でもないことでも穏やかに察知するアンテナと思いやりある言葉・行動を、少しずつでも磨いていけたらと思います。

随時更新しています！真野小学校Webページをご覧下さい！

学校行事や学習の様子を随時紹介しています。是非ご覧下さい。

真野小学校　検索　　ＵＲＬ：http://www.otsu.ed.jp/mano-e/